

○ 議第 152 号～第 170 号「指定管理者の指定について(子ども若者はぐくみ局関係)」
参考資料

議第 152 号「京都市室町児童館」	・・・	1
議第 153 号「京都市錦林児童館」	・・・	3
議第 154 号「京都市修学院第二児童館」	・・・	7
議第 155 号「京都市明德児童館」	・・・	11
議第 156 号「京都市円町児童館」	・・・	15
議第 157 号「京都市西野児童館」	・・・	17
議第 158 号「京都市大塚児童館」	・・・	21
議第 159 号「京都市久世児童館」	・・・	25
議第 160 号「京都市安井児童館」	・・・	27
議第 161 号「京都市嵯峨野児童館」	・・・	31
議第 162 号「京都市山ノ内児童館」	・・・	35
議第 163 号「京都市梅津北児童館」	・・・	37
議第 164 号「京都市嵯峨広沢児童館」	・・・	41
議第 165 号「京都市嵐山東児童館」	・・・	45
議第 166 号「京都市住吉児童館」	・・・	49
議第 167 号「京都市向島南児童館」	・・・	53
議第 168 号「京都市神川児童館」	・・・	57
議第 169 号「京都市羽束師児童館」	・・・	61
議第 170 号「京都市児童発達支援センターこぐま園」	・・・	65
各指定候補者の役員名簿	・・・	69

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市上京区室町通上立売上る東入柳岡子町 3 0 1 番地
(分室)
京都市上京区北小路室町 4 1 3
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 2 9 7 . 7 9 平方メートル
(分室)
構 造 鉄筋コンクリート造 3 階建て(3 階部分)
延べ床面積 1 5 7 . 5 4 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都社会福祉協会（理事長 今井 豊嗣）
主たる事務所の所在地	京都市東山区三条通大橋東二丁目 7 3 番地の 2
設 立 年 月 日	昭和 5 5 年 8 月 1 3 日
現 在 の 基 本 財 産	5, 0 0 0, 0 0 0 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の設置経営 ・ 児童厚生施設の設置経営、指定管理 ・ 設置又は管理経営する児童館において、京都市が実施する放課後児童健全育成事業及び地域子育て支援拠点事業の受託実施
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市大宮西野山児童館ほか 1 1 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 0・1・2 歳児の登録制のクラブを展開し、子育て家庭のつながりがもてるクラブ作りを目指す。
- イ 異学年、他学校の子どもたちが遊びを通じて社会性を培えるように取組を実施する。
- ウ 中学生のチャレンジ職場体験や中高生世代と赤ちゃんとの交流事業の受入れを通じて、中高生世代が来館しやすいよう努める。
- エ フードドライブで食べ物の大切さを学ぶとともに、貧困家庭を支援する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
収入	委託料	46, 966, 766	47, 562, 288	48, 183, 702	48, 823, 759	49, 483, 017
	利用料	14, 500, 000	14, 500, 000	14, 500, 000	14, 500, 000	14, 500, 000
	収入合計	61, 466, 766	62, 062, 288	62, 683, 702	63, 323, 759	63, 983, 017
支出	人件費	31, 372, 866	31, 968, 388	32, 589, 802	33, 229, 859	33, 889, 117
	事業費	30, 093, 900	30, 093, 900	30, 093, 900	30, 093, 900	30, 093, 900
	支出合計	61, 466, 766	62, 062, 288	62, 683, 702	63, 323, 759	63, 983, 017

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 京都社会福祉 協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長年の児童館運営の実績から、地域とともに歩む児童館として幅広い運営が期待できる。 ・ 障害のある児童の利用も積極的に受け入れている点が評価できる。配慮を要する取組とは思いますが続けていただきたい。 ・ 近くの大学生と協力してSDGsについて学んだりして大変良い。 ・ 児童館、その他施設の運営実績を踏まえた事業計画になっている。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都社会福祉協会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都社会福祉協会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.75
	2 団体の運営管理体制	28	26.25
	小計	38	36.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.75
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.75
合計		106	103.75
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	97.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 外部評価に記載されている中高生の「居場所」づくりや保護者の主体的活動を促すための子育て支援活動について事業計画に反映されているが、より一層の取組を期待する。特に中高生の活動については京都市青少年活動センターと連携し、切れ目のない支援を期待する。
- ・ 十分にサービスの質の確保及び向上が図られていると考える。今後、学習支援活動等も実施できればなお良い。
- ・ アンケート調査や外部評価を受けるなどしている、研修を行っているので良いと思う。
- ・ サービスの質の確保・向上に資するべく多様な施策を実施されているかと思える。
- ・ 利用者アンケートは有用な方法と考えるが、より効果的な運用のためにアンケート回答率の向上等を検討していただきたい。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市左京区岡崎入江町 8 番地
(施設外クラス)
京都市左京区岡崎入江町 1-1
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 307.37 平方メートル
(施設外クラス)
錦林小学校内
延べ床面積 40.00 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都福祉サービス協会（理事長 宮路 博）
主たる事務所の所在地	京都市中京区壬生御所ノ内町 39 番地の 5
設 立 年 月 日	平成 5 年 7 月 30 日
現 在 の 基 本 財 産	土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別養護老人ホームの経営 ・ 軽費老人ホームの経営 ・ 放課後児童健全育成事業の経営 ・ 養育支援訪問事業の経営 ・ 地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 児童厚生施設児童館の経営 ・ 老人居宅介護等事業の経営 ・ 老人デイサービス事業の経営 ・ 老人短期入所事業の経営 ・ 小規模多機能型居宅介護事業の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人介護支援センターの経営 ・ 障害福祉サービス事業の経営 ・ 特定相談支援事業の経営 ・ 居宅介護支援事業 ・ 地域支援事業を市町村から受託して実施する事業 ・ 介護保険適用外老人居宅介護等事業 ・ 介護職員養成研修等事業 ・ 要介護認定・要支援認定調査事業 ・ 訪問看護事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市修徳児童館ほか 1 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 利用する児童やその家庭と、生活圏域における地域住民が共にそれぞれの自己実現を果たしながら支え合い結び合うための活動を行い、これからの地域社会に新たな共生、協働のネットワークを生み出す。
- イ 障害の有無を問わず児童館及び学童クラブを利用できる機会を確保し、発達の特徴に合わせた個別支援を実施する。
- ウ 子どもの意見を尊重し、子ども一人ひとりと丁寧に関わる。
- エ 魅力ある乳幼児親子の活動を展開するとともに、自由に集える雰囲気づくりと環境整備を行い、日常的な遊び場としての児童館になるよう努める。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	34,445,063	35,010,238	35,556,713	36,183,588	36,659,713
	利用料	17,272,000	17,272,000	17,272,000	17,272,000	17,272,000
	収入合計	51,717,063	52,282,238	52,828,713	53,455,588	53,931,713
支出	人件費	28,705,063	29,270,238	29,816,713	30,443,588	30,919,713
	事業費	23,012,000	23,012,000	23,012,000	23,012,000	23,012,000
	支出合計	51,717,063	52,282,238	52,828,713	53,455,588	53,931,713

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 京都福祉サービス協会	<ul style="list-style-type: none"> 長年の児童館運営の実績から、地域とともに歩む児童館として幅広い運営が期待できる。 障害のある児童の受入れを積極的に行っている点及び通年事業としてスタディールームを設置し、学習支援事業を行っている点が評価できる。 子どもが考えた「お楽しみ会をしたい！」という企画を実行しているところが素晴らしい。松原コドモ未来会議では子どもの意見を地域の大人が聞く機会が作られており、大変良い取組だと思う。 児童館を含む多くの施設を運営されており、スケールメリットを活かした運営をされている。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都福祉サービス協会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都福祉サービス協会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	23.00
	小計	38	33.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.75
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.75
合計		106	100.75
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.0

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 外部評価に記載されている「中・高生世代への継続的な利用」に向けて、高校や京都市青少年活動センターと連携し、切れ目のない支援を期待する。
- 児童館事業については十分にサービスの質の確保及び向上が図られていると考える。団体全体としては、過去の不祥事の原因究明及び対策を徹底し、今後も健全な運営を確保していただければと思う。
- 中高生の実習も受け入れてほしい。
- サービスの質の確保・向上に資するべく多様な施策を実施されているかを見受けられる。
- 利用者ニーズアンケートは有用な方法と考えるが、より効果的な運用のためにアンケート回答率の向上等を検討していただきたい。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市左京区一乗寺里ノ西町34番地
(施設外クラス)
京都市左京区一乗寺里ノ西町35番地
- (2) 施設規模等
構造 鉄筋コンクリート造2階建て
延べ床面積 291.56平方メートル
(施設外クラス)
修学院第二小学校内
延べ床面積 64.00平方メートル

2 指定期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都社会福祉協会（理事長 今井 豊嗣）
主たる事務所の所在地	京都市東山区三条通大橋東二丁目73番地の2
設 立 年 月 日	昭和55年8月13日
現 在 の 基 本 財 産	5,000,000円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の設置経営 ・ 児童厚生施設の設置経営、指定管理 ・ 設置又は管理経営する児童館において、京都市が実施する放課後児童健全育成事業及び地域子育て支援拠点事業の受託実施
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市大宮西野山児童館ほか11館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 異年齢の子どもたちの集団生活を通じて、社会性や自主性の育成を図る。
- イ 障害のある児童が居心地の良い居場所として集団生活を営み、他の児童とともに過ごせるようにする。
- ウ 乳幼児クラブや遊びの広場等の活動を通じて、子育て中の保護者同士の交流、相談活動を行い、保護者の居場所づくりを行う。
- エ 小中学校の校長、幼稚園や保育園の園長との情報交換を行う等、地域の関係機関との連携を図る。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	32,711,900	33,231,815	33,773,341	34,331,113	34,905,619
	利用料	9,205,000	9,205,000	9,205,000	9,205,000	9,205,000
	収入合計	41,916,900	42,436,815	42,978,341	43,536,113	44,110,619
支出	人件費	27,067,000	27,586,915	28,128,441	28,686,213	29,260,719
	事業費	14,849,900	14,849,900	14,849,900	14,849,900	14,849,900
	支出合計	41,916,900	42,436,815	42,978,341	43,536,113	44,110,619

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 京都社会福祉 協会	<ul style="list-style-type: none"> 法人発足が昭和55年と歴史のある法人であり、多くの保育所、児童館を運営している実績がある。法人のスケールメリットを活かした仕組づくりができており、定例理事会を3か月ごとに開催し、それ以外にも適宜理事会が開催されている。保育園長会議、児童館長会議は原則毎月開催され、また合同での施設長会議も開催されており情報の共有がはかられている。平成30年からは管理体制の強化を目的に館長を補佐する主任児童厚生員を各館に1名ずつ配置し組織体制が整えられている。 地域交流に力を入れていることがうかがえ、商店街のイベントへの参加や近隣の子育て施設との共催事業など、地域の特色を生かしているのが良い。 親世代はSNSへの親近感が強いので、SNSによる情報発信は良い取組である。また、抜打ちで内部監査を行っている点は評価できる。 法人内の児童館の間で、職員が他の施設で実地研修を行っている点や職員が一定期間で異動することにしてしている点など、良い部分を共有し、全体のサービスの質を向上させようとしている点が評価できる。他方、法人そのものでは、保育園ではあるが、2年続けて監査指摘を受けており、改善しているとはいいつつ、問題が発生した原因自体が取り除かれているのかが判然としない。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都社会福祉協会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都社会福祉協会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.75
	2 団体の運営管理体制	28	25.75
	小計	38	35.50
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	103.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	97.6

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 事業計画においては、「児童館の行事を通じて子育ての意見交換を行える場を年間数回実施し母親クラブの設立を目指す」となっており、是非母親クラブの設立に向けて取り組んでいただきたい。
- 多数の児童館運営実績があり、様々な面において経験の蓄積、ノウハウがあることが評価できる。また、HPに各児童館の情報があり、月間予定などが簡単に確認出来るので、利用者にとってありがたいと思う。
- 今後、人手不足により、外国人労働者が増えると予測される。それに伴い、外国人の児童も児童館に来ることが予測される。そのため、外国人の児童に対しても差別を行うことなく過ごすことができる体制を構築することが望まれる。
- 職員を対象とした研修を実施しているが、とりわけコンプライアンス研修を弁護士が実施しているのかなど、研修講師、内容が申請資料からは判然としないため、これらが明らかにされることが望ましい。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市左京区岩倉忠在地町 2 1 5 番地の 2
(施設外クラス)
京都市左京区岩倉忠在地町 2 2 1
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 3 2 1. 7 6 平方メートル
(施設外クラス)
明德小学校内
延べ床面積 6 4. 0 0 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都福祉サービス協会（理事長 宮路 博）
主たる事務所の所在地	京都市中京区壬生御所ノ内町 3 9 番地の 5
設 立 年 月 日	平成 5 年 7 月 3 0 日
現 在 の 基 本 財 産	土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別養護老人ホームの経営 ・ 軽費老人ホームの経営 ・ 放課後児童健全育成事業の経営 ・ 養育支援訪問事業の経営 ・ 地域子育て支援拠点事業の経営 ・ 児童厚生施設児童館の経営 ・ 老人居宅介護等事業の経営 ・ 老人デイサービス事業の経営 ・ 老人短期入所事業の経営 ・ 小規模多機能型居宅介護事業の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営 ・ 老人デイサービスセンターの経営 ・ 老人介護支援センターの経営 ・ 障害福祉サービス事業の経営 ・ 特定相談支援事業の経営 ・ 居宅介護支援事業 ・ 地域支援事業を市町村から受託して実施する事業 ・ 介護保険適用外老人居宅介護等事業 ・ 介護職員養成研修等事業 ・ 要介護認定・要支援認定調査事業 ・ 訪問看護事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市修徳児童館ほか 1 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

ア 利用する児童やその家庭と、生活圏域における地域住民が共にそれぞれの自己実現を果たしながら支え合い結び合うための活動を行い、これからの地域社会に新たな共生、協働のネットワークを生み出す。

イ 障害の有無を問わず児童館及び学童クラブを利用できる機会を確保し、発達の特徴に合わせた個別支援を実施する。

ウ 子どもの意見を尊重し、子ども一人ひとりと丁寧に関わる。

エ 魅力ある乳幼児親子の活動を展開するとともに、自由に集える雰囲気づくりと環境整備を行い、日常的な遊び場としての児童館になるよう努める。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	37,026,350	37,504,638	37,913,938	38,437,700	38,779,650
	利用料	16,181,000	16,181,000	16,181,000	16,181,000	16,181,000
	収入合計	53,207,350	53,685,638	54,094,938	54,618,700	54,960,650
支出	人件費	30,272,450	30,750,738	31,160,038	31,683,800	32,025,750
	事業費	22,934,900	22,934,900	22,934,900	22,934,900	22,934,900
	支出合計	53,207,350	53,685,638	54,094,938	54,618,700	54,960,650

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 京都福祉サービス協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢、障害福祉サービスの分野で大きな存在感を有する法人であり、老人ホーム訪問や老人会の協力を得ての将棋教室、児童館まつり等、高齢世代と若年世代との架け橋となるような幅広い交流の活動を積極的に実施している点が評価できる。クラウド上のグループウェアでの情報共有も合理的で注目される。その他、中学校の部活や劇団、大学生ボランティアサークル等と連携してのイベント実施、わんわんパトロール等の地域と連携した子の安全への取組もされており、評価できる。 ・ 認知症あんしんサポート講座や花育等、各活動に工夫が凝らされていると感じた。インカムの導入は先駆的な取組だと感じ、効果検証して欲しい。研修も多彩で、積極的に実施すれば全体のレベルアップが図れるのではないかと思われる。 ・ 切れ目のない支援を実現すべく事業計画が練られているところが評価できる。 ・ 内部監査室が設置されており評価できるが、結果的に横領が生じているため、内部監査室の実効力を再度確認するとよい。 ・ 少年補導、老人会による「昔遊びコーナー」など、地域高齢者との交流事業に力を注がれている点が評価できる。 ・ 対人援助を担う職員のメンタルヘルスケア強化で、コンプライアンス推進に努められている点が評価できる。 ・ デジタル、アナログどちらからもアクセスしやすい広報を工夫されている点が評価できる。 ・ 今後子どもを持つとうとしている親に対しても対応している点が評価できる。 ・ 児童のみを対象とするのではなく、コミュニティ全体を支援対象としている点が評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都福祉サービス協会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都福祉サービス協会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	22.00
	小計	38	32.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	17.50
	3 応募施設の施設運営体制	10	9.25
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	66.75
合計		106	98.75
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	93.2

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 児童館職員の人事評価は令和6年度導入とのことで、フィードバック等で評価に対する各職員の率直な意見を聴取し、真に公平で透明性ある基準となっているか検証し、より良いものにしていただきたい。保護者との意思疎通不足に係る苦情が散見される他、発達障害を有する児童への不適切な対応、利用者間トラブル対応時の言動に対する不満もあった。職員間で丁寧な意思疎通をするための視点や工夫に関する意見交換、発達障害等の研修、利用者間トラブルへの対応方針や姿勢等の確認を実施されたい。
- ・ 以前に横領等が発生しているため、内部管理体制の構築という意味で、多様な研修カリキュラムに、会計に関する研修カリキュラムが含まれているといい。
- ・ コロナ禍で声を出せない時に手話歌に取り組んだことがきっかけで子どもたちの関心が高まり、聴覚言語障害者との交流会が開催されたことは素晴らしいと感じた。他の福祉団体との横のつながりをこれからも重視していただきたい。
- ・ 法人内の研修体系が確立されているが、コンプライアンスや利用者対応における事故などに関する研修をより充実させることで、法人が運営しているすべての事業において、不正や事故発生の可能性が減少するのではないか。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市中京区西ノ京南大炊御門町 3 3 番地
(施設外クラス)
京都市中京区西ノ京中御門西町 2 5
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 200.00 平方メートル
(施設外クラス)
朱雀第八小学校内
延べ床面積 87.00 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都社会福祉協会（理事長 今井 豊嗣）
主たる事務所の所在地	京都市東山区三条通大橋東二丁目 7 3 番地の 2
設 立 年 月 日	昭和 55 年 8 月 13 日
現 在 の 基 本 財 産	5,000,000 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の設置経営 ・ 児童厚生施設の設置経営、指定管理 ・ 設置又は管理経営する児童館において、京都市が実施する放課後児童健全育成事業及び地域子育て支援拠点事業の受託実施
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市大宮西野山児童館ほか 11 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 学童クラブにおいて、特技披露の場を設け、緊張感・達成感・応援する気持ち・自分も友達も大切にすることを養う。
- イ 障害のある児童が居心地の良い居場所として集団生活を営み、他の児童とともに過ごせるようにする。
- ウ 子育て中の保護者の交流や相談、子育て講座等の啓発活動を実施する。
- エ 民生児童委員協議会や自治連合会に働きかけ、ボランティアの協力を得て実施する「児童館まつり」を開催する等、地域交流の促進を図る。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
収入	委託料	17,497,883	17,555,357	17,612,919	17,672,208	17,733,275
	利用料	10,365,000	10,365,000	10,365,000	10,365,000	10,365,000
	収入合計	27,862,883	27,920,357	27,977,919	28,037,208	28,098,275
支出	人件費	13,012,983	13,070,457	13,128,019	13,187,308	13,248,375
	事業費	14,849,900	14,849,900	14,849,900	14,849,900	14,849,900
	支出合計	27,862,883	27,920,357	27,977,919	28,037,208	28,098,275

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 京都社会福祉協会	<ul style="list-style-type: none"> 長年の児童館運営の実績や特に障害のある児童の受入の実績から、着実な運営が期待できる。 障害のある児童の利用も積極的に受け入れている点が評価できる。配慮を要する取組とは思いますが続けていただきたい。 地域の信用金庫・大学の取組に参加し、ウクライナの子どもたちの状況を話し、児童が描いた絵やメッセージを送った取組はすばらしい。 児童館、その他施設の運営実績を踏まえた事業計画になっている。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都社会福祉協会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都社会福祉協会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.75
	2 団体の運営管理体制	28	26.50
	小計	38	36.25
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.75
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.75
合計		106	104.00
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	98.1

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 外部評価に記載されている中高生の「居場所」づくりや保護者の主体的活動を促すための子育て支援活動について事業計画に反映されているが、より一層の取組を期待する。特に中高生の活動については中学校や高校、京都市青少年活動センターと連携し、切れ目のない支援を期待する。
- 十分にサービスの質の確保及び向上が図られていると考える。今後、学習支援活動等も実施できればなお良い。
- アンケート調査や外部評価を受けるなどしている、研修を行っているのも良いと思う。
- サービスの質の確保・向上に資するべく多様な施策を実施されているかを見受けられる。
- 利用者アンケートは有用な方法と考えるが、より効果的な運用のためにアンケート回答率の向上等を検討していただきたい。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市山科区西野櫃川町 2 7 番地の 3
(施設外クラス)
京都市山科区西野櫃川町 3 4
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 3 1 3 . 5 0 平方メートル
(施設外クラス)
西野小学校内
延べ床面積 6 4 . 0 0 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都社会福祉協会（理事長 今井 豊嗣）
主たる事務所の所在地	京都市東山区三条通大橋東二丁目 7 3 番地の 2
設 立 年 月 日	昭和 5 5 年 8 月 1 3 日
現 在 の 基 本 財 産	5, 0 0 0, 0 0 0 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の設置経営 ・ 児童厚生施設の設置経営、指定管理 ・ 設置又は管理経営する児童館において、京都市が実施する放課後児童健全育成事業及び地域子育て支援拠点事業の受託実施
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市大宮西野山児童館ほか 1 1 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 開かれた魅力ある遊び場として、様々な遊び道具やクラブ活動を用意し、子どもの居場所づくりを行う。
- イ 障害のある児童も居心地の良い居場所として集団生活を営み、障害のない児童とともに学び合うようにする。
- ウ 子育て中の保護者同士の交流や相談、子育て講座等の啓発活動を実施する。
- エ 子ども支援センター等との共催で子育て支援部会を開催し、地域の関係機関との連携を図る。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
収入	委託料	34, 572, 135	35, 080, 920	35, 613, 945	36, 162, 961	36, 728, 447
	利用料	7, 145, 000	7, 145, 000	7, 145, 000	7, 145, 000	7, 145, 000
	収入合計	41, 717, 135	42, 225, 920	42, 758, 945	43, 307, 961	43, 873, 447
支出	人件費	26, 867, 235	27, 376, 020	27, 909, 045	28, 458, 061	29, 023, 547
	事業費	14, 849, 900	14, 849, 900	14, 849, 900	14, 849, 900	14, 849, 900
	支出合計	41, 717, 135	42, 225, 920	42, 758, 945	43, 307, 961	43, 873, 447

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 京都社会福祉 協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人発足が昭和55年と歴史のある法人であり、多くの保育所、児童館を運営している実績があり、法人のスケールメリットを活かした仕組みづくりが行われている。組織体制の強化を目的に館長を補佐する主任児童厚生員を各館に1名ずつ任命されていることは評価できる。更に、西野児童館は地域の要望により小学校校庭の北側に設立された経過があり、地域は古くからの地域と新しい住宅地が混在し連携が希薄なことが課題となっている。このような地域状況の中で「学区子ども子育て支援ネットワーク会議」が行われており、会議の事務局を担当していることは地域への働きかけとして評価できる。 ・ 保護者や地域住民をボランティア講師として受け入れていることやボランティアの発掘育成まで目を向けていることについて、大きなイベント時以外にも様々な世代の交流が図れる点でとても良い取組だと思う。 ・ 親世代はSNSへの親近感が強いいため、SNSによる情報発信は良い取組である。また、抜打ちで内部監査を行っている点は評価できる。 ・ 法人内の児童館の間で、職員が他の施設で実地研修を行っている点や職員が一定期間で異動することになっている点など、良い部分を共有し、全体のサービスの質を向上させようとしている点が評価できる。また、SDGs推進について、ジェンダー平等を意識した取組をしている点が評価できる。他方、法人そのものでは、保育園ではあるが、2年続けて監査指摘を受けており、改善しているとはいいつつ、問題が発生した原因自体が取り除かれているのかが判然としない。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都社会福祉協会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都社会福祉協会
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.75
	2 団体の運営管理体制	28	25.75
	小計	38	35.50
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	103.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	97.6

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 事業計画の策定において、貧困家庭の児童への支援があげられている。事業計画にある大学と連携した学習支援に向け、モデル実施館の取組内容や課題などを見極めたうえで、近隣の大学へ情報発信すべく準備をする予定とある。時代や地域のニーズに対応するものであり計画を進めていただきたい。
- 多数の児童館運営実績があり、様々な面において経験の蓄積、ノウハウがあることが評価できる。また、HPに各児童館の情報があり、月間予定などが簡単に確認出来るので、利用者にとってありがたいと思う。
- 今後、人手不足により、外国人労働者が増えると予測される。それに伴い、外国人の児童も児童館に来ることが予測される。そのため、外国人の児童に対しても差別を行うことなく過ごすことができる体制を構築することが望まれる。
- 職員を対象とした研修を実施しているが、とりわけコンプライアンス研修を弁護士が実施しているのかなど、研修講師、内容が申請資料からは判然としないため、これらが明らかにされることが望ましい。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市山科区大塚野溝町 5 6 番地
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 4 階建て（1 階部分）
延べ床面積 299.59 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人洛和福祉会（理事長 矢野 一郎）
主たる事務所の所在地	京都市伏見区桃山町大島 3 8 番地の 5 2 8
設 立 年 月 日	平成 9 年 2 月 6 日
現 在 の 基 本 財 産	土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別養護老人ホームの経営 ・ 障害者支援施設の経営 ・ 老人短期入所事業の経営 ・ 老人デイサービス事業の経営 ・ 老人介護支援センターの経営 ・ 老人居宅介護等事業の経営 ・ 障害福祉サービス事業の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営 ・ 保育所の経営 ・ 一時預かり事業の経営 ・ 小規模多機能型居宅介護事業の経営 ・ 放課後児童健全育成事業の経営 ・ 児童厚生施設の経営 ・ 特定相談支援事業の経営 ・ 小規模保育事業の経営 ・ 介護保険法に基づく第 1 号訪問事業 ・ 介護保険法に基づく第 1 号通所事業 ・ 複合型サービス福祉事業の経営 ・ 居宅介護支援事業 ・ 訪問看護事業 ・ 介護老人保健施設事業 ・ 大塚地域包括支援センター及び分室の設置経営 ・ シルバーピア坂下通り等の生活援助業務の経営
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市花山児童館ほか 2 館

4 事業計画及び収支計画の概要

- (1) 事業計画の概要
- ア 地域で培ってきた関係機関との連携を強化し、子どもの育ちを地域ぐるみで支えていく。
- イ 利用者・地域から信頼される児童館として地域とつながり、安心できる居場所を提供する。
- ウ 貧困家庭の子ども支援として、子ども食堂の更なる展開を図る。
- エ 地域のニーズに高くアンテナをはり、アウトリーチも含めた相談機能を強化する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	30,670,244	31,525,476	32,407,220	33,316,298	34,253,559
	利用料	11,197,200	11,197,200	11,197,200	11,197,200	11,197,200
	収入合計	41,867,444	42,722,676	43,604,420	44,513,498	45,450,759
支出	人件費	27,588,144	28,443,376	29,325,120	30,234,198	31,171,459
	事業費	14,279,300	14,279,300	14,279,300	14,279,300	14,279,300
	支出合計	41,867,444	42,722,676	43,604,420	44,513,498	45,450,759

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 洛和福祉会	<ul style="list-style-type: none"> 長年の児童館運営の経験から、地域とともに歩む児童館として幅広い運営が期待できる。 障害のある子どもの受入れを行っている点、子ども食堂を定期的に開催して貧困家庭の子どものための支援を積極的に行っている点が素晴らしい。 コミュニケーションを大切にしているところや子ども食堂など、利用者に対して丁寧な対応をされている事が伝わってきた。 児童館を含む多くの施設を運営されており、スケールメリットを活かした運営をされている。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人洛和福祉会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 洛和福祉会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	25.50
	小計	38	35.50
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	9.75
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.75
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.50
合計		106	103.00
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	97.2

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

- (3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見
- ・ ソフト面の整備として、高校や京都市青少年活動センターとも連携を行い、切れ目のない支援を期待する。
 - ・ 幅広い世代を対象とした青少年（中高生、大学生）の利用、参加を意識した事業を展開できればなお良い。
 - ・ ICTの活用で便利になるが、情報弱者へのより一層丁寧な対応も行ってほしい。
 - ・ サービスの質の確保・向上に資するべく多様な施策を実施されているかを見受けられる。
 - ・ アンケートは有用な方法と考えるが、より効果的な運用のためにアンケート回答率の向上等を検討していただきたい。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市南区久世大築町 50 番地の 1
(施設外クラス)
京都市南区世大藪町 62
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 337.11 平方メートル
(施設外クラス)
大藪小学校内
延べ床面積 64.00 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都社会福祉協会（理事長 今井 豊嗣）
主たる事務所の所在地	京都市東山区三条通大橋東二丁目 73 番地の 2
設 立 年 月 日	昭和 55 年 8 月 13 日
現 在 の 基 本 財 産	5,000,000 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の設置経営 ・ 児童厚生施設の設置経営、指定管理 ・ 設置又は管理経営する児童館において、京都市が実施する放課後児童健全育成事業及び地域子育て支援拠点事業の受託実施
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市大宮西野山児童館ほか 11 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 遊びや友達、児童厚生員との関わり等を通じて、自主性・社会性・創造性を育めるように、子ども遊びや日常の生活を支援する。
- イ ヤングケアラーや家庭の貧困から学習環境が整わない子どもに対し、学習支援事業を行う。
- ウ 地域の子育て支援ニーズを把握するとともに、乳幼児を対象とした活動の実施、参加者同士の交流の場を提供し、仲間づくりを促進できる機会を設ける。
- エ 地域ボランティアの方に将棋や囲碁の指導の実施を依頼する等、地域で子育てを支え合う環境整備を行う。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
収入	委託料	31,830,142	32,334,763	32,846,194	33,372,969	33,915,548
	利用料	8,870,000	8,870,000	8,870,000	8,870,000	8,870,000
	収入合計	40,700,142	41,204,763	41,716,194	42,242,969	42,785,548
支出	人件費	25,850,242	26,354,863	26,866,294	27,393,069	27,935,648
	事業費	14,849,900	14,849,900	14,849,900	14,849,900	14,849,900
	支出合計	40,700,142	41,204,763	41,716,194	42,242,969	42,785,548

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 京都社会福祉 協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長年の児童館運営の実績から、地域とともに歩む児童館として幅広い運営が期待できる。 ・ 障害のある児童の積極的な受入れや困難家庭の児童への学習支援事業に関する取組をされている点が評価できる。配慮を要する取組とは思いますが続けていただきたい。 ・ フードドライブの取組は素晴らしい。 ・ 児童館、その他施設の運営実績を踏まえた事業計画になっている。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都社会福祉協会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都社会福祉協会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.75
	2 団体の運営管理体制	28	26.50
	小計	38	36.25
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.25
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.25
合計		106	103.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	97.6

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 外部評価に記載されている中高生の「居場所」づくりや保護者の主体的活動を促すための子育て支援活動について事業計画に反映されているが、より一層の取組を期待する。特に中高生の活動については高校、京都市青少年活動センターと連携し、切れ目のない支援を期待する。
- ・ 十分にサービスの質の確保及び向上が図られていると考える。
- ・ アンケート調査や外部評価を受けるなどしている、研修を行っているので良い。SDGsの取組はほかの目標にも積極的に取り組んでほしい。
- ・ サービスの質の確保・向上に資するべく多様な施策を実施されているかと思える。
- ・ 利用者アンケートは有用な方法と考えるが、より効果的な運用のためにアンケート回答率の向上等を検討していただきたい。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市右京区太秦安井柳通町9番地の4
- (2) 施設規模等
構 造 木造2階建て
延べ床面積 232.87平方メートル

2 指定期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都社会福祉協会（理事長 今井 豊嗣）
主たる事務所の所在地	京都市東山区三条通大橋東二丁目73番地の2
設 立 年 月 日	昭和55年8月13日
現 在 の 基 本 財 産	5,000,000円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の設置経営 ・ 児童厚生施設の設置経営、指定管理 ・ 設置又は管理経営する児童館において、京都市が実施する放課後児童健全育成事業及び地域子育て支援拠点事業の受託実施
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市大宮西野山児童館ほか11館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 子どもたちが居心地の良い場所として集団生活を営めるような居場所づくりに努める。
- イ ヤングケアラーや家庭の貧困から学習環境が整わない子どもに対し、学習支援事業を行う。
- ウ 子育て中の保護者の交流や相談、子育て講座等の啓発活動を実施する。
- エ 小中学校の校長、幼稚園や保育園の園長との情報交換を行う等、地域の関係機関との連携を図る。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	29,453,900	29,989,276	30,552,682	31,132,990	31,730,708
	利用料	7,605,000	7,605,000	7,605,000	7,605,000	7,605,000
	収入合計	37,058,900	37,594,276	38,157,682	38,737,990	39,335,708
支出	人件費	28,250,000	28,785,376	29,348,782	29,929,090	30,526,808
	事業費	8,808,900	8,808,900	8,808,900	8,808,900	8,808,900
	支出合計	37,058,900	37,594,276	38,157,682	38,737,990	39,335,708

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 京都社会福祉協会	<ul style="list-style-type: none"> 法人発足が昭和55年と歴史のある法人であり、多くの保育所、児童館を運営している実績がある。組織体制においては定例理事会を3か月ごとに開催し、それ以外にも適宜理事会が開催されている。保育園長会議、児童館長会議は原則毎月開催され、また合同での施設長会議も開催されており情報の共有がはかられている。平成30年からは管理体制の強化を目的に館長を補佐する主任児童厚生員を各館に1名ずつ配置し組織体制が整えられている。 児童福祉を学ぶ学生と子どもたちとの交流の機会を設けている点は、双方にとって利益のあることだと思う。 親世代はSNSへの親近感が強いいため、SNSによる情報発信は良い取組である。また、抜打ちで内部監査を行っている点は評価できる。 法人内の児童館の間で、職員が他の施設で実地研修を行っている点や職員が一定期間で異動することになっている点など、良い部分を共有し、全体のサービスの質を向上させようとしている点が評価できる。他方、法人そのものでは、保育園ではあるが、2年続けて監査指摘を受けており、改善しているとはいいつつ、問題が発生した原因自体が取り除かれているのかが判然としない。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都社会福祉協会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都社会福祉協会
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.75
	2 団体の運営管理体制	28	25.75
	小計	38	35.50
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	103.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	97.6

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

- (3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見
- 児童館の運営においては、地域の支援の中で開設し運営されてきた経緯から児童館を大切に思い支えていこうという熱い思いが受け継がれている。現運営法人の交流、連携については全て引き継ぐとなっており、この法人に移管してもらって良かったと地域で愛される児童館を目指して今後も取り組んでいただきたい。近隣の大学等の教育機関などとの連携も積極的に進めていただきたい。
 - 多数の児童館運営実績があり、様々な面において経験の蓄積、ノウハウがあることが評価できる。また、HPに各児童館の情報があり、月間予定などが簡単に確認出来るので、利用者にとってありがたいと思う。
 - 今後、人手不足により、外国人労働者が増えると予測される。それに伴い、外国人の児童も児童館に来ることが予測される。そのため、外国人の児童に対しても差別を行うことなく過ごすことができる体制を構築することが望まれる。
 - 職員を対象とした研修を実施しているが、とりわけコンプライアンス研修を弁護士が実施しているのかなど、研修講師、内容が申請資料からは判然としないため、これらが明らかにされることが望ましい。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市右京区嵯峨野秋街道町 3 5 番地の 1
(施設外クラス)
京都市右京区嵯峨野千代ノ道町 5 3
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 267.14 平方メートル
(施設外クラス)
嵯峨野小学校内
延べ床面積 65.00 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人積慶園（理事長 古村 正哉）
主たる事務所の所在地	京都市西京区樫原角田町 1 番地の 4 2
設 立 年 月 日	昭和 40 年 4 月 5 日
現 在 の 基 本 財 産	土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童養護施設 積慶園の設置経営 ・ 乳児院 積慶園の設置経営 ・ 特別養護老人ホーム 山科積慶園の設置経営 ・ 児童厚生施設 京都市嵯峨野児童館の指定管理 ・ 児童厚生施設 京都市桂徳児童館の指定管理 ・ 児童厚生施設 京都市川岡東児童館の指定管理 ・ 地域子育て支援拠点事業の受託 ・ 放課後児童健全育成事業 ・ 子育て短期支援事業 ・ 老人短期入所事業 特別養護老人ホーム山科積慶園の設置経営 ・ 老人居宅介護等事業 山科積慶園居宅介護支援事業所絆の設置経営
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市桂徳児童館ほか 1 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 子育て中の親子の居心地のよい場所を作る。
イ 子どもの意見を尊重し、最善の利益を優先し、遊びを通じての成長を促す。
ウ 子どもを真ん中に地域の方々とのつながりの輪を作る。
エ 子どもたちの安心・安全な居場所づくりを行う。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
収入	委託料	31,187,095	32,409,429	32,987,144	33,660,586	34,228,088
	利用料	10,800,000	10,800,000	10,800,000	10,800,000	10,800,000
	収入合計	41,987,095	43,209,429	43,787,144	44,460,586	45,028,088
支出	人件費	22,887,095	24,109,429	24,687,144	25,360,586	25,928,088
	事業費	19,100,000	19,100,000	19,100,000	19,100,000	19,100,000
	支出合計	41,987,095	43,209,429	43,787,144	44,460,586	45,028,088

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人積慶園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの福祉にとって最も重要な存在は、子どもに関わる「人」であり、職員が出産や育児、介護等を担っていても仕事と両立できる職場環境整備の推進を明示的に掲げ、週休2日制の導入に取り組まれる等、職員が無理なく働き、子どもに丁寧に接することができるようにしていこうという姿勢が評価できる。 ・ 第三者評価を受けて速やかにイベントや教室の実施等の対策を講じ、例えば自由来館児童の数を増やす等しており、課題に取り組む実行する力がある点は、組織としての強みだと感じた。その他、子どもの意見をたくさん取り入れ、多彩なイベントを実施している点も評価できる。 ・ 内部統制の質の向上を目的として、内部監査室が置かれていることが評価できる。また、過去2年間不祥事等もないので、実効力が担保されていることが推定できる。 ・ 子育て家庭への支援として赤ちゃん訪問などアウトリーチ型の支援に力を入れられている点や、SNSへ掲載する写真については個人が特定されないよう利用者の写真を掲載していない点、利用料金の支払いが苦しい家庭には分割払いや給与日後の支払いなど柔軟に対応している点が評価できる。 ・ 保護者からの相談をオンラインで受けるなど対応方法を複数持っている点や、地域住民、保育園、小学校、中学校などと連携を行い子どもの育成に力を入れている点、貧困世帯への支援としてこども食堂を学区社協と協力して立ち上げを行う点が評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人積慶園を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 積慶園
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	25.25
	小計	38	35.25
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	17.75
	3 応募施設の施設運営体制	10	9.50
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.25
合計		106	102.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	96.7

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 入退室管理システムの導入は双方にメリットがあつて注目されるが、保護者とのコミュニケーションの機会が1つ減ることになるので、引き続き、アンケートや意思疎通の機会を大切にしていきたい。
- 利用者のニーズの把握から、改善計画を策定・実行・見直しされており、既存のサービスに固執せずに変化に対応していく姿勢が評価できる。
- 利用者からアンケートをとるだけでなく、結果を掲示してどのように対応したかまで公表し、「見える化」を目指していく姿勢はぜひ継続していただきたい。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市右京区山ノ内宮脇町12番地の2
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造1階建て
延べ床面積 195.11平方メートル

2 指定期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人宏量福祉会（理事長 芹澤 出）
主たる事務所の所在地	京都市右京区山ノ内宮脇町9番地の2
設 立 年 月 日	昭和55年1月24日
現 在 の 基 本 財 産	土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子生活支援施設 野菊荘の経営 ・ 京都市山ノ内児童館の指定管理 ・ 京都市常磐野児童館の指定管理 ・ 放課後児童健全育成事業の受託 ・ 地域子育て支援拠点事業の受託
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市常磐野児童館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 遊びや行事を通してルールや約束を守り、協調性を養えるように促す。
- イ 家族での児童館利用を促進し、家族同士の交流を行い、地域における子育て家庭ネットワークの基盤づくりへとつなげる取組を実施する。
- ウ 地域の行事に参加し、協力できるよう関係を深めることで、地域の活性化につなげる。
- エ 子どもの「生きる力」を育み、自立の促進を図る。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	29,529,398	30,079,435	30,640,473	31,212,731	31,796,435
	利用料	6,894,100	6,894,100	6,894,100	6,894,100	6,894,100
	収入合計	36,423,498	36,973,535	37,534,573	38,106,831	38,690,535
支出	人件費	28,053,898	28,603,935	29,164,973	29,737,231	30,320,935
	事業費	8,369,600	8,369,600	8,369,600	8,369,600	8,369,600
	支出合計	36,423,498	36,973,535	37,534,573	38,106,831	38,690,535

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 宏量福祉会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長年に渡る児童館運営の経験に基づき、地域子育て支援の拠点として幅広い運営が期待できる。 ・ 地域交流を意識し、幅広い世代が参加できる活動を実施している点、子ども食堂の開催等を通じて積極的に貧困家庭の子どもの支援を行っている点が評価できる。 ・ 事故防止のために子どもが考えた遊びのルールがあり、子どもが積極的に参加できている点が素晴らしい。 ・ 児童館を含む多くの施設を運営されており、歴史もあり経験を活かした運営をされている。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人宏量福祉会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 宏量福祉会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.75
	2 団体の運営管理体制	28	26.50
	小計	38	36.25
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.50
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.50
合計		106	103.75
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	97.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 切れ目のない支援に向けて、京都市青少年活動センターとの連携を期待する。
- ・ 十分にサービスの質の確保及び向上が図られていると考える。資金収支上の不安要素は今のところ見受けられないが、月次単位での予算の執行状況の確認や損益の状況の把握等、経営の効率性確保も意識して事業運営していただければと考える。
- ・ 中高生の実習も受け入れて、より一層中高生との連携をしていただきたい。
- ・ サービスの質の確保・向上に資するべく多様な施策を実施されているかを見受けられる。
- ・ アンケートは有用な方法と考えるが、より効果的な運用のためにアンケート回答率の向上等を検討していただきたい。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市右京区梅津開キ町18番地
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造2階建て
延べ床面積 313.62平方メートル

2 指定期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	公益社団法人京都市児童館学童連盟（会長 稲川 昌実）
主たる事務所の所在地	京都市南区東九条東山王町27番地
設 立 年 月 日	平成18年4月1日
現 在 の 基 本 財 産	なし
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の社会性向上及び自立促進を図るための事業 ・ 児童虐待の予防・防止及び子育て不安の解消を図るための事業 ・ 児童の安全確保を図るための事業 ・ 児童健全育成に寄与するイベント等の実施及び広報・普及啓発事業 ・ 児童館・学童クラブ等職員の資質の向上及び育成 ・ 障害のある児童のための介助者の派遣、巡回指導の実施 ・ 地域の子育て支援や福祉サービスの利用を援助する事業 ・ 児童館・学童クラブ相互の連絡調整並びに関係機関及び関係団体との連携協力 ・ 学童クラブ事業の公平・円滑な運営を図るための事業 ・ 児童館・学童保育所に従事する職員を紹介するための職業紹介事業 ・ 児童館の管理及び運営 ・ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市西京極西児童館ほか6館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 子どもの成長を支援し、遊びやクラブ・行事等を通して、助け合う心や工夫する力を育てる。
- イ 乳幼児や児童、中高生といった、幅広い年齢層の子どもたちへの多様な遊びや学びの場を提供する。
- ウ 「じどうかんまつり」の開催や将棋クラブ交流等、児童館を通じた異世代交流を促進する。
- エ 障害の有無を問わず、学童クラブの利用機会を確保する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料等	29,078,000	29,480,000	29,889,000	30,303,000	30,724,000
	利用料	7,023,000	7,023,000	7,023,000	7,023,000	7,023,000
	収入合計	36,101,000	36,503,000	36,912,000	37,326,000	37,747,000
支出	人件費	31,052,000	31,454,000	31,863,000	32,277,000	32,698,000
	事業費	5,049,000	5,049,000	5,049,000	5,049,000	5,049,000
	支出合計	36,101,000	36,503,000	36,912,000	37,326,000	37,747,000

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	公益社団法人 京都市児童館 学童連盟	<ul style="list-style-type: none"> 児童館、学童クラブの領域にとどまらずファミリーサポート事業、つどいの広場、フードドライブ事業など子どもに関わる多様な取組を行っている公益社団法人が運営しており、理事23名、監事3名の組織体制で安定した事業運営がされている。事業計画においては、特に力を入れて取り組む事項として障害のある児童の受入れや虐待が疑われる児童への対応を挙げている点は、時代のニーズに対応しており評価できる。 体育館等小学校の施設を借りての活動ができるというのは、小学校敷地内にあることを活かせていて良い。また、中高生の利用促進について積極的に取り組んでいる印象を受けた。 修繕すべき箇所の有無について、「点検チェックシート」を用いて定期的にチェックする取組は評価できる。また、子どものいじめに対する対応がフローチャートとしてまとめられている点は評価できる。 利用者の尊重において、児童虐待の早期発見やいじめ対応等について、積極的、具体的な取組が行われている点が評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、公益社団法人京都市児童館学童連盟を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		公益社団法人 京都市児童館学童連盟
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.50
	2 団体の運営管理体制	28	26.50
	小計	38	36.00
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	104.00
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	98.1

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

- (3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見
- 地域特性として古くから地域を守ってきた世代と新しく地域住民となった世代が混在する地域にあり、学童登録者が増加し、自由来館者も増えている。小学校内にあり小学校の施設を借りて乳幼児親子と小学生が関わる機会をつくることも行っている。今後もこのような小学生が乳幼児と関わる機会をつくることを継続して取り組んでいただきたい。
 - 児童館、学童クラブの運営実績があり、職員の教育体制の整備や第三者評価の受診を行っている点、学童の出欠連絡にICTを活用している点は、時代に即していて評価できる。
 - 今後、人手不足のため、外国人労働者が増えると予測される。それに伴い、外国人の児童も児童館に来ることが予測される。そのため、外国人の児童に対しても差別を行うことなく過ごすことができる体制を構築することが望まれる。
 - 基本的な考え方や取組は望ましいものとするが、法人が複数の施設を運営していることから、職員が他の施設で実地研修を行うなどして、他の施設の良い部分を吸収することでサービスの質を向上させるような取組もあって良いと考える。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市右京区嵯峨広沢御所ノ内町 2 1 番地の 3
(施設外クラス)
京都市右京区嵯峨広沢西裏町 2 5
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 227.44 平方メートル
(施設外クラス)
広沢小学校内
延べ床面積 64.00 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都社会福祉協会（理事長 今井 豊嗣）
主たる事務所の所在地	京都市東山区三条通大橋東二丁目 7 3 番地の 2
設 立 年 月 日	昭和 55 年 8 月 13 日
現 在 の 基 本 財 産	5,000,000 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の設置経営 ・ 児童厚生施設の設置経営、指定管理 ・ 設置又は管理経営する児童館において、京都市が実施する放課後児童健全育成事業及び地域子育て支援拠点事業の受託実施
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市大宮西野山児童館ほか 11 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 様々な活動を通して、自分を認め自己肯定感を高め、主体的に考え行動できる子どもに育つ環境をつくる。
- イ 障害のある児童が居心地の良い居場所として集団生活を営み、他の児童とともに過ごせるようにする。
- ウ 子育てサロンを開催することで、子育ての社会的な共同の場づくりを行う。
- エ 地域に協力を依頼し、卓球クラブや将棋クラブを開催する等、地域交流の促進を図る。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
収入	委託料	32,866,100	33,426,094	34,002,164	34,595,517	35,206,669
	利用料	10,220,000	10,220,000	10,220,000	10,220,000	10,220,000
	収入合計	43,086,100	43,646,094	44,222,164	44,815,517	45,426,669
支出	人件費	28,236,200	28,796,194	29,372,264	29,965,617	30,576,769
	事業費	14,849,900	14,849,900	14,849,900	14,849,900	14,849,900
	支出合計	43,086,100	43,646,094	44,222,164	44,815,517	45,426,669

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 京都社会福祉 協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 満足度アンケートや「きいてボックス」の設置等で利用者の意見を集約しており、特に子どもを真ん中にした運営がなされていると感じた。また、「すてきバンク」で保護者や地域住民の力を借り、法人やその職員だけではなく、地域社会みんなで子どもたちを育もうとする姿勢も評価できる。 ・ 利用者の地域散策も、地域とのつながりを深めることや帰属意識を醸成することに繋がる良い取組だと感じた。高校生ボランティアの受入れも積極的に実施されており、幅広い世代が児童館に関与することのできる取組で、注目したい。 ・ 臨床心理士による定期的な子育て相談の実施など、親を支える取組が評価できる。 ・ 増加する災害に対する危機感や、ヤングケアラー・子どもの貧困、フードドライブやリユースといった近時のトピックスにも自覚的に対応していこうという姿勢も随所に見られる点が評価できる。 ・ 借入金の償還に耐えうるだけの流動比率、純資産比率を持ち合わせていることが評価できる。 ・ 約40年の実績があり、児童館を運営するに当たり信頼できる点が評価できる。 ・ 会計研修が実施されていること、本部事務局において全施設の会計業務を行っていることから牽制機能が働いていると推定できることが評価できる。 ・ 小学校の全担任の先生と学期に一度懇談会を開いて、子どもたちの情報共有を行っている点が評価できる。 ・ 不登校や高校中退など学校に行けていない子どもたちの居場所となるよう寄り添いながら、自分を肯定できるような活動を促している点が評価できる。 ・ 施設での話し合いで納得できない場合、苦情解決第三者委員会の窓口を伝えている点が評価できる。 ・ 法人で多くの児童館や保育園等を運営し、横のつながりを持っている点が評価できる。 ・ 事業計画を利用者にわかりやすく周知している点が評価できる。 ・ 機能ごとに目標を立てて、様々な取組を行っている点が評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都社会福祉協会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都社会福祉協会
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	26.25
	小計	38	36.25
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	104.25
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	98.3

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 苦情解決第三者委員の活用と事例共有によるサービスの質の向上に向けた取組だけではなく、逆に各施設の良いところを発表し共有する取組もあり、これは職員らのやりがい、働きがいに繋がっていると考えられる。利用者対利用者、利用者対職員間での不適切な言動は見過ごさずに対応することであるから、この点についても、例えば利用者や各職員の強み、良かった対応等を共有する取組をする等も考えられるところである。
- 階層別の研修に力を入れている点が評価できる。子どもたちにとっての最善の利益を軸に、サービスの質の向上が図られている点も評価できる。
- 必要なものと不要なものを区別し不要なものを捨てる、という点について、環境への配慮及びSDGs推進と絡めながら、子どもたち自身でも判断できる機会があればいい。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市西京区嵐山東海道町47番地の1
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造2階建て
延べ床面積 287.43平方メートル

2 指定期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都社会福祉協会（理事長 今井 豊嗣）
主たる事務所の所在地	京都市東山区三条通大橋東二丁目73番地の2
設 立 年 月 日	昭和55年8月13日
現 在 の 基 本 財 産	5,000,000円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の設置経営 ・ 児童厚生施設の設置経営、指定管理 ・ 設置又は管理経営する児童館において、京都市が実施する放課後児童健全育成事業及び地域子育て支援拠点事業の受託実施
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市大宮西野山児童館ほか11館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 開かれた魅力ある遊び場として、創造性を育てるおもちゃや様々な分野の本を揃えた子どもの居場所づくりを行う。
- イ 障害のある児童も居心地の良い場所として集団生活を営み、障害のない児童とともに学び合うようにする。
- ウ 子育てサロンを開催することで、子育ての社会的な共同の場づくりを行う。
- エ 児童館が小学校の敷地内にある点を活かし、児童館の行事や学校の授業参観の際には相互の職員による参観を行うなど、学校と密に連携を取った運営を行っていく。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	29,878,900	30,414,276	30,977,682	31,557,990	32,155,707
	利用料	7,180,000	7,180,000	7,180,000	7,180,000	7,180,000
	収入合計	37,058,900	37,594,276	38,157,682	38,737,990	39,335,707
支出	人件費	28,250,000	28,785,376	29,348,782	29,929,090	30,526,807
	事業費	8,808,900	8,808,900	8,808,900	8,808,900	8,808,900
	支出合計	37,058,900	37,594,276	38,157,682	38,737,990	39,335,707

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 京都社会福祉協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 満足度アンケートや「あのねボックス」の設置等で利用者の意見を集約できるようにしており、多数で遊びたい子や一人で居たい子いずれもが居心地が良いと感じられる空間づくりをする等、利用者とりわけ子どもを真ん中にし、一人一人を尊重する運営がなされていると感じた。また、「すてきバンク」で保護者や地域住民の力を借り、法人やその職員だけではなく、地域社会みんなで子どもたちを育もうとする姿勢も評価できる。 ・ 「こんにちは赤ちゃん訪問」等で、積極的に利用者に関わろうとしているところも良い取組だと感じた。 ・ 中高生の利用を促進すべきとの第三者評価の意見があり、その対応として、部活単位での訪問を促す取組などを進めていく点について注目される。 ・ 増加する災害に対する危機感や、ヤングケアラー・子どもの貧困、フードドライブやリユースといった近時のトピックスにも自覚的に対応していこうという姿勢も随所に見られる点が評価できる。 ・ 借入金の償還に耐えうるだけの流動比率、純資産比率を持ち合わせていることが評価できる。 ・ 約40年の実績があり、児童館を運営するにあたり信頼できる点が評価できる。 ・ 会計研修が実施されていること、本部事務局において全施設の会計業務を行っていることから牽制機能が働いていると推定できることが評価できる。 ・ 地域の敬老会の方の指導で、将棋デーを開催するなど、地域連携を通して子どもの居場所づくりがされている点が評価できる。 ・ 児童館と小学校が同じ敷地内にあることから、双方の行事に職員の方が参加しやすく情報交換ができ、連携を密に行っている点が評価できる。 ・ 機能別に目標を立て、毎月、利用者・保護者のために、地域のボランティアなどに対応してもらった内容などを盛り込んでいる点が評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都社会福祉協会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都社会福祉協会
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.75
	2 団体の運営管理体制	28	26.25
	小計	38	36.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	104.00
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	98.1

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 苦情解決第三者委員の活用と事例共有によるサービスの質の向上に向けた取組だけではなく、逆に各施設の良いところを発表し共有する取組もあり、これは職員らのやりがい、働きがいに繋がっていると考えられる。利用者対利用者、利用者対職員間での不適切な言動は見過ごさずに対応することであるから、この点についても、例えば利用者や各職員の強み、良かった対応等を共有する取組をする等も考えられるところである。
- ・ 階層別の研修に力を入れている点が評価できる。子どもたちにとっての最善の利益を軸に、サービスの質の向上が図られている点も評価できる。
- ・ 児童福祉業界が人材不足で苦しい中でも職員確保がほぼ達成できており、また令和5年度より本部事務局の施設監査担当職員を1名から2名体制とされ、きめ細かな業務執行に努められている点は高く評価できる。
- ・ 施設との話し合いで納得していただけない時だけではなく、第三者委員にも直接苦情等を申し出ることができるようにすることで、より幅広い保護者からの要望等を収集できると思われる。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市伏見区大和町 5 6 8 番地
- (2) 施設規模等
構 造 鉄骨造 1 階建て
延べ床面積 2 1 7 . 7 4 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会（会長 横内 美佐子）
主たる事務所の所在地	京都市左京区下鴨北野々神町 2 6 番地
設 立 年 月 日	昭和 5 7 年 1 月 2 8 日
現 在 の 基 本 財 産	なし
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子家庭等及び父子家庭並びに寡婦の生活・子育てその他の電話相談及び面談相談に関する事業 ・ 母子家庭等及び父子家庭並びに寡婦の就業自立を支援するための相談会、講習会、研修等の事業 ・ 母子家庭等及び父子家庭並びに寡婦の福祉の向上を推進するための事業 ・ 母子家庭等及び父子家庭並びに寡婦の福祉についての調査・研究・発表・広報・出版などの事業 ・ 「ひとり親家庭支援センター」の管理・運営に関する事業 ・ 児童館の管理・運営に関する事業 ・ 京都市子育て支援活動いきいきセンター事業の管理・運営に関する事業 ・ 児童健全育成事業、子育て支援の推進に関する事業 ・ 介護保険外サービスの提供に関する事業 ・ 物品販売事業 ・ その他目的を達成するのに必要な事業
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市葵児童館ほか 1 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 子どもたちを健やかに育み、権利を尊重・擁護し、自立を支援する。
- イ 地域の子どもも大人も利用しやすい「敷居の低い」施設づくりを目指す。
- ウ 子育ての仲間を広げ、子育て家庭を支援し、子育ての社会連帯を促進する。
- エ つながりをお大切にする地域社会を、地域と連携を図る中で創造し、共生の街づくりを推進する。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
収入	委託料	29,709,569	31,479,852	32,282,135	34,072,418	35,842,702
	利用料	9,360,000	9,360,000	9,360,000	9,360,000	9,360,000
	収入合計	39,069,569	40,839,852	41,642,135	43,432,418	45,202,702
支出	人件費	27,834,598	29,604,881	30,407,164	32,197,447	33,967,731
	事業費	11,234,971	11,234,971	11,234,971	11,234,971	11,234,971
	支出合計	39,069,569	40,839,852	41,642,135	43,432,418	45,202,702

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	一般社団法人 京都市ひとり 親家庭福祉連 合会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意思決定の在り方として、上からだけでなく下から意見等があり、それを取り上げて総会で決定するプロセスは、職員の主体性ややりがいを育み、民主的かつ風通しも良い証拠であって評価できる。 ・ 法改正や裁判例等を取り上げる時機にかなった研修も実施しており、歴史ある中にも最新の知見にアップデートしようという姿勢が評価できる。 ・ 高学年会議で出たアイデアをもとに企画することや、子どもたちが考えて行うエコアクション等、子どもを中心に据え、主体性を育む取組が評価できる。 ・ ひとり親家庭（父子家庭含む）への相談事業や丁寧な親子関係の調整、就労、食料支援、子どもへの学習支援等は、当該法人の沿革からして重要でニーズも大きいと思われるので、引き続きご尽力いただきたい。また、趣旨に賛同する支援団体や企業とのネットワーク作りは大変有用と思われるため注目したい。 ・ 応募事業体はひとり親家庭への支援に特化しているが、子育て支援事業にも長けており児童館運営に相応しいと評価できる。 ・ 障害のある児童に対する合理的配慮の提供について広く啓発活動をされている点が評価できる。 ・ 館内で過ごしているだけでは見えないSNSを通じたいじめに関しても、子どもたちと信頼関係を築きながら学校との連携を通じて慎重に介入しようとしている点が評価できる。 ・ 設備点検では、単に壊れている箇所を修繕するのみでなく、防犯と利便性の面から照明を追加するなどの工夫がされている点が評価できる。 ・ 自力で館に来ることができない子どもに対して、職員やボランティアが送迎を行うなど、障害特性に応じた対応を行っている点が評価できる。 ・ 貧困家庭への支援を、法人内の事業所と連携して行っている点が評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		一般社団法人 京都市ひとり親家庭福祉連 合会
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	23.75
	小計	38	33.75
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	9.50
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	67.50
合計		106	101.25
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.5

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 保護者との連絡手段として、アプリを活用することは双方にメリットはあるものの、コミュニケーションの機会が減るケースもあることから、引き続きアンケートを実施し、あるいは直接のコミュニケーションの機会があるときには、積極的な意思疎通をされたい。
- 50年にわたる運営実績があり、これまでの経験と、PDCAサイクルの活用により、サービスの質の確保・向上に関する安定感が感じ取れる点が評価できる。
- 月1回の施設長会議においては、各施設長が会計報告を行うことが望ましい。
- 外部評価は令和3～5年度の間未受診のため、客観的な評価が難しい点はあるが、真摯に利用者の方の声に向き合い、情報開示にも積極的なことから、不安要素はほとんどないように感じる。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市伏見区向島津田町9 1 番地の5
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造2階建て
延べ床面積 280.14平方メートル

2 指定期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人向島保育園（理事長 福田 砂弓）
主たる事務所の所在地	京都市伏見区向島本丸町6 8 番地
設 立 年 月 日	昭和49年11月20日
現 在 の 基 本 財 産	土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 向島保育園の設置経営 ・ 京都市向島南児童館の指定管理 ・ 放課後児童健全育成事業 ・ 地域子育て支援拠点事業
他の本市児童館での指定管理の実績	なし

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 人間関係を強固にする異年齢集団による遊びや達成感・協調性を育てる伝承遊び、巧緻性を伸ばし自然とふれあえる体験活動に力を入れる。
- イ 子育て家庭の孤立化を防ぐため、乳幼児クラブや母親クラブをはじめとする親交流の場の充実を図る。
- ウ 保育園・小中学校や子育て支援センター等の関係機関とネットワークを築き、子育て支援の地域力向上のための役割を担う。
- エ 子どもの意見が表明できる場所が多く地域にでき、将来的には「どこにでも自分の力が発揮できる場所がある」という地域づくりを目指す。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	委託料	26,719,934	27,788,731	28,900,280	30,056,291	31,258,543
	利用料	6,528,100	6,528,100	6,528,100	6,528,100	6,528,100
	収入合計	33,248,034	34,316,831	35,428,380	36,584,391	37,786,643
支出	人件費	29,812,641	30,560,547	31,338,369	32,147,304	32,988,596
	事業費	3,435,393	3,756,284	4,090,011	4,437,087	4,798,047
	支出合計	33,248,034	34,316,831	35,428,380	36,584,391	37,786,643

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 向島保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和49年に設立された社会福祉法人であり、80年以上保育園を運営してきた実績がある。親子4代で利用している方もいて、地域に根差した保育園である。児童館職員は5名であるが、毎週ミーティングを行い、職員会議には理事長も出席し、児童館長が保育園に出向き保育園と児童館の連携が図られている。地域交流において向島地域住民、旧来からある団体施設とは緊密、良好な関係が築けているが、ベッドタウンとして開けたところやその周辺は地域としてのまとまりが緩やかで流動的であり、常に新たな関係作りを積み重ねていく事が求められている事を常に意識されている。 ・ 苦情解決の報告から、事実関係の把握や対応がしっかりされていると感じた。放課後のエネルギーあふれる子ども達の対応は、何も問題がなくても大変なことと思うが、そんな中でも一人一人を大切にす方針を持ち続けてほしい。 ・ 月例の児童館職員会議に、法人理事長が児童館に出向いて出席している点は、現場の情報がトップに伝達されているという点で良いと思う。ただし、理事長が理事会で報告し、全ての理事と情報共有しているかどうかという点については現況報告書では確認できなかった。 ・ SNSでの発信において、児童の写真は載せない方針とされており、個人情報保護の点で評価できる。 ・ 地域での長年にわたる保育園の運営実績を基にした、単一の児童館との連携は法人の強みと評価できる。他方、ともすれば職員個人の資質に頼る部分が多くなり、再現性や継続性が低くなる懸念がある。文書化が進んでいない点、同懸念点を如実に示しているが、逆にいえば、その点を払拭できれば、より安定的な運営に繋がると考える。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人向島保育園を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 向島保育園
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.75
	2 団体の運営管理体制	28	24.00
	小計	38	33.75
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	101.75
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	96.0

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 事業計画において、地域の特性、ニーズを踏まえた特色ある児童館づくりを重視することを意識している。地域に人間関係の基盤を持たない子育て家庭が多く、地域特性や学区統合に伴う区域特性を見ながら子育て支援ができるよう子育て家庭支援機能の充実を事業計画に入れており、地域のニーズに対応できるような取組を継続していただきたい。
- 長年保育園を運営されている法人ということから、就労家庭や子どもの育ちについて経験と実績があることと思う。小学校統合による変化の中で難しい面もあると思うが、第三者評価にも指摘のある地域との繋がりをより深めていくことを期待する。
- 今後、人手不足により、外国人労働者が増えると予測される。それに伴い、外国人の児童も児童館に来ることが予測される。そのため、外国人の児童に対しても差別を行うことなく過ごすことができる体制を構築することが望まれる。
- 理念や基本的な方向性は望ましいものとするが、外部評価で指摘を受けている地域の自治会等との繋がりや、中・長期計画の文書化等に対する具体的な取組の方向性が示されるべきと考える。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市伏見区久我東町 1 番地の 3 9
- (2) 施設規模等
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建て
延べ床面積 295.91 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都社会福祉協会（理事長 今井 豊嗣）
主たる事務所の所在地	京都市東山区三条通大橋東二丁目 7 3 番地の 2
設 立 年 月 日	昭和 55 年 8 月 13 日
現 在 の 基 本 財 産	5,000,000 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の設置経営 ・ 児童厚生施設の設置経営、指定管理 ・ 設置又は管理経営する児童館において、京都市が実施する放課後児童健全育成事業及び地域子育て支援拠点事業の受託実施
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市大宮西野山児童館ほか 11 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 卓球や工作等のクラブを実施し、子どもたちの新たな経験を培うことや、チャレンジする気持ちを養う。
- イ 育成学級の児童にとっても居心地の良い場所として過ごせる集団生活の場を目指す。
- ウ 子育て中の保護者の交流や相談、子育て講座等の啓発活動を実施する。
- エ 小中学校の校長、幼稚園や保育園の園長との情報交換を行う等、地域の関係機関との連携を図る。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
収入	委託料	32,532,900	33,068,498	33,609,193	34,166,110	34,739,734
	利用料	9,137,000	9,137,000	9,137,000	9,137,000	9,137,000
	収入合計	41,669,900	42,205,498	42,746,193	43,303,110	43,876,734
支出	人件費	26,820,000	27,355,598	27,896,293	28,453,210	29,026,834
	事業費	14,849,900	14,849,900	14,849,900	14,849,900	14,849,900
	支出合計	41,669,900	42,205,498	42,746,193	43,303,110	43,876,734

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 京都社会福祉 協会	<ul style="list-style-type: none"> 法人発足が昭和55年と歴史のある法人であり、多くの保育所、児童館を運営している実績がある。組織体制においては定例理事会を3か月ごとに開催し、それ以外にも適宜理事会が開催されている。保育園長会議、児童館長会議は原則毎月開催され、また合同での施設長会議も開催されており情報の共有がはかられている。平成30年からは管理体制の強化を目的に館長を補佐する主任児童厚生員を各館に1名ずつ配置し組織体制が整えられている。 幼保、小中学校の合同会議にも足を運ぶなど、積極的に外部との連携を進めている点、また放課後まなび教室とも連絡を密にしている点も、子どもにとっての利益につながると思う。 親世代はSNSへの親近感が強い為、SNSによる情報発信は良い取組である。また、抜打ちで内部監査を行っている点は評価できる。 法人内の児童館の間で、職員が他の施設で実地研修を行っている点や職員が一定期間で異動することとしている点など、良い部分を共有し、全体のサービスの質を向上させようとしている点が評価できる。他方、法人そのものでは、保育園ではあるが、2年続けて監査指摘を受けており、改善しているとはいいつつ、問題が発生した原因自体が取り除かれているのかが判然としない。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都社会福祉協会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都社会福祉協会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	9.75
	2 団体の運営管理体制	28	25.75
	小計	38	35.50
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	103.50
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	97.6

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

- (3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見
- ・ 30年前から人口が増加している地域にある児童館である。昼間留守家庭が増えている地域であり、そのような地域の需要から学童クラブの登録者数も多い状況である。今後も利用が増える事が想定される地域であるため、地域の子育て力の向上や社会全体で子どもを育てる発信基地としての役割を今後も高めていっていただきたい。
 - ・ 多数の児童館運営実績があり、様々な面において経験の蓄積、ノウハウがあることが評価できる。また、HPに各児童館の情報があり、月間予定などが簡単に確認出来るので、利用者にとってありがたいと思う。
 - ・ 今後、人手不足により、外国人労働者が増えると予測される。それに伴い、外国人の児童も児童館に来ることが予測される。そのため、外国人の児童に対しても差別を行うことなく過ごすことができる体制を構築することが望まれる。
 - ・ 職員を対象とした研修を実施しているが、とりわけコンプライアンス研修を弁護士が実施しているのかなど、研修講師、内容が申請資料からは判然としないため、これらが明らかにされることが望ましい。

1 施設の概要

- (1) 所在地
京都市伏見区羽東師志水町 1 3 8 番地の 6
(施設外クラス)
京都市伏見区羽東師志水町 1 3 7-2
- (2) 施設規模等
構 造 鉄骨造 1 階建て
延べ床面積 220.50 平方メートル
(施設外クラス)
長岡福音自由教会京都南チャペル 1 階部分
延べ床面積 53.90 平方メートル

2 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都社会福祉協会（理事長 今井 豊嗣）
主たる事務所の所在地	京都市東山区三条通大橋東二丁目 7 3 番地の 2
設 立 年 月 日	昭和 5 5 年 8 月 1 3 日
現 在 の 基 本 財 産	5,000,000 円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の設置経営 ・ 児童厚生施設の設置経営、指定管理 ・ 設置又は管理経営する児童館において、京都市が実施する放課後児童健全育成事業及び地域子育て支援拠点事業の受託実施
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市大宮西野山児童館ほか 1 1 館

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

- ア 開かれた魅力ある遊び場として、クラブ活動等を行い、主体性を育む。
- イ 障害のある児童が居心地の良い居場所として集団生活を営み、他の児童とともに学び合うようにする。
- ウ 子育てサロンを開催することで、子育ての社会的な共同の場づくりを行う。
- エ 小中学校の校長、幼稚園や保育園の園長との情報交換を行う等、地域の関係機関との連携を図る。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
収入	委託料	27,569,900	28,041,504	28,533,166	29,039,579	29,561,183
	利用料	12,714,000	12,714,000	12,714,000	12,714,000	12,714,000
	収入合計	40,283,900	40,755,504	41,247,166	41,753,579	42,275,183
支出	人件費	25,434,000	25,905,604	26,397,266	26,903,679	27,425,283
	事業費	14,849,900	14,849,900	14,849,900	14,849,900	14,849,900
	支出合計	40,283,900	40,755,504	41,247,166	41,753,579	42,275,183

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定委員会による評価

応募団体数	応募団体名	選定委員会による評価
1	社会福祉法人 京都社会福祉協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 満足度アンケートや「ご意見・ご要望ボックス」の設置等で利用者の意見を集約しており、特に子どもを真ん中にした運営がなされていると感じた。また、子どもの権利条約概要版を玄関先におき、子どもの権利にまつわる児童書を揃えている点は、子どもたちに対し、人が生まれながらにして持つ人権の意味を考えさせ、自分も他人も大切に考える考え、心を育む重要な取組と考える。 ・ フードドライブやリユースといった近時のトピックスにも自覚的に対応していこうという姿勢が随所に見られる点が評価できる。 ・ 借入金の償還に耐えうるだけの流動比率、純資産比率を持ち合わせていることが評価できる。 ・ 約40年の実績があり、児童館を運営するにあたり信頼できる点が評価できる。 ・ 会計研修が実施されていること、本部事務局において全施設の会計業務を行っていることから牽制機能が働いていると推定できることが評価できる。 ・ 施設目標の「しんどい時こそ遊びにおいで」というフレーズは、新興住宅街で孤立しがちな、貧困や虐待のリスクを抱えている家庭に手を差し伸べられる点が評価できる。 ・ 職員間で共通理解を徹底し、人権を尊重した対応に当たっている点が評価できる。 ・ 法人で多くの児童館や保育園等を運営し、横のつながりを持っている点が評価できる。 ・ 近隣施設で合同企画を行うなど、連携している点が評価できる。 ・ 保護者の意見を取り入れた取組（お譲り会）を行い、それを活かして情報共有の機能も果たしている点が評価できる。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都社会福祉協会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都社会福祉協会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	26.25
	小計	38	36.25
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	18	18.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	68.00
合計		106	104.25
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	98.3

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 苦情解決第三者委員の活用と事例共有によるサービスの質の向上に向けた取組だけではなく、逆に各施設の良いところを発表し共有する取組もあり、これは職員らのやりがい、働きがいに繋がっていると考えられる。利用者対利用者、利用者対職員間での不適切な言動は見過ごさずに対応することであるから、この点についても、例えば利用者や各職員の強み、良かった対応等を共有する取組をする等も考えられるところである。
- 階層別の研修に力を入れている点が評価できる。子どもたちにとっての最善の利益を軸に、サービスの質の向上が図られている点も評価できる。
- 自由来館事業を利用する児童がもっと増えるような取組を模索していきたいとの目標設定は、子どもたちが「自分の居場所がある」と実感するためにも重要だと感じた。
- 施設との話し合いで納得していただけない時だけではなく、第三者委員にも直接苦情等を申し出ることができるようにすることで、より幅広い保護者からの要望等を収集できると思われる。

議第 170 号 京都市児童発達支援センターこぐま園

1 施設の概要

(1) 所在地

京都市中京区壬生東高田町1番地の20（「COCO・てらす」内）

(2) 施設規模等

構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造5階建て（うち、3階）

延べ床面積 479.53平方メートル

2 指定期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

3 指定管理者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都基督教福祉会（理事長 中江 潤）
主たる事務所の所在地	京都市西京区樫原百々ヶ池3
設立年月日	昭和45年11月18日
現在の基本財産	土地、建物
事業概要	<p>（第一種社会福祉事業）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 特別養護老人ホームの経営 <p>（第二種社会福祉事業）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 保育所の設置運営・ 幼保連携型認定こども園業の設置経営・ 一時預かり事業の経営・ 老人デイサービスセンターの設置経営・ 老人短期入所事業の設置経営・ 老人介護支援センターの設置経営・ 障害福祉サービス事業の設置経営・ 障害児通所支援事業の設置経営・ 障害児通所支援事業の受託経営・ 保育所型認定こども園の設置経営・ 小規模保育事業の設置経営・ 障害児相談支援事業の設置経営・ 特定相談支援事業の設置経営・ 障害児相談支援事業の受託経営・ 特定相談支援事業の受託経営・ 養育支援訪問事業の受託経営 <p>（公益を目的とする事業）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 保育士養成施設の設置経営・ 社会福祉主事養成機関、介護福祉士養成施設の設置経営・ 居宅介護支援事業の設置経営・ 地域支援事業を市町村から受託して実施する事業の経営・ 認可外保育施設の設置運営・ 京都市第三子以降等産前産後ヘルパー事業の受託経営

4 事業計画及び収支計画の概要

(1) 事業計画の概要

発達上に制約のあるこどもたちが制約を制約と感じず、社会で心地よく生きるために自らの力を十分に発揮し、活動することで心身の健やかな発達を遂げることを支援する。

一人ひとりに合わせた支援を行い、周りに理解者を増やすことで、所属園での生活を困りなく楽しく過ごすことを目的とする。

地域における障害児支援の中核的な役割を担う。

(2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	給付費等	105,000,000	108,000,000	110,000,000	116,500,000	116,500,000
	委託料	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000
	収入合計	108,500,000	111,500,000	113,500,000	120,000,000	120,000,000
支出	人件費	100,000,000	101,500,000	103,000,000	108,000,000	109,000,000
	事業費	6,300,000	6,300,000	6,800,000	7,000,000	7,000,000
	業務委託費	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,500,000	2,500,000
	その他支出	200,000	200,000	200,000	300,000	300,000
	支出合計	108,500,000	110,500,000	112,000,000	117,800,000	118,800,000

5 選定の概況

(1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	社会福祉法人 京都基督教福祉会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの当該施設運営の実績に基づき、堅実な運営が期待できる。 長年に亘り、市の児童発達支援センターに係る事業運営を受託されており、十分な実績がある。児童一人一人の発達の程度には差異があることを前提に、オーダーメイドの支援計画を立てておられる点が評価できる。 職員研修に超入門自閉症支援講座をはじめとする講習会や研修をしているところが素晴らしい。 過去の実績・経験を踏まえた事業計画になっている。 <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都基督教福祉会を指定管理者に選定しています。</p>

(2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都基督教福祉会
運営実績 (申請団体の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	28	24.25
	小計	38	34.25
事業計画 (応募施設の状況)	1 応募施設の運営理念	8	7.25
	2 応募施設の事業計画	18	15.75
	3 応募施設の施設運営体制	10	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	12	12.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	68	65.00
合計		106	99.25
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	93.6

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

- (3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見
- ・「地域交流」や「利用者の意思反映」について、施設側からのさらなる積極的な働きかけを行うことを期待する。また、地域における障害児支援の中核的な役割を担うために、地域社会との連携をさらに推進することを期待する。
 - ・職員会議は各月 1 回行っているが、児童発達支援には対処が困難な事案もあると思うため、施設内における職員間のコミュニケーションをより緊密にとっていただき、チームとして問題点の共有、解決を図っていただければよいと考える。法人に対する監査指摘事項については、原因を究明し、再発防止を図っていただきたい。
 - ・直接コミュニケーションを重視し、利用者のサービスの質の確保等を実施されている点が素晴らしい。
 - ・保護者支援に力を入れていこうとしている点や、丁寧にすべての命と向き合う姿勢を徹底している点が素晴らしい。

各指定候補者の役員等名簿

1 児童館（18館）

団 体 名	役 員
社会福祉法人京都社会福祉協会 (議第 152 号、議第 154 号、議第 156 号、議第 157 号、議第 159 号、議第 160 号、議第 164 号、議第 165 号、議第 168 号、議第 169 号)	理事長 今井 豊嗣 理 事 内海 日出子、梅田 真実、加藤 善朗、國重 晴彦、 福井 敦子、山根 邦夫、山本 智也 監 事 小林 久男、田中 和雅 評議員 東 嘉月、池田 健、岩井 英人、上田 恵子、 上林 正裕、久保 千鶴、倉持 史朗、服部 敬子、 吉川 彰
社会福祉法人京都福祉サービス協会 (議第 153 号、議第 155 号)	理事長 宮路 博 理 事 井上 章、木戸 玲子、河本 歩美、塩澤 宏、 日栄 優、藤松 素子、増田 秀一、松本 勝一 監 事 石原 牧、壁 純一郎 評議員 井上 基、神波 順子、児玉 直久、下村 典也、 豊田 久美子、西村 忠雄、西村 幸秀、野田 雅子、 山添 洋子、山田 尋志、横内 美佐子
社会福祉法人洛和福祉会 (議第 158 号)	理事長 矢野 一郎 理 事 矢野 裕典、健代 孝和、橋本 京三、清原 元輔、 柳田 和義 監 事 村尾 慎哉、湊 二郎 評議員 佐野 泰典、大川 雅司、原田 佑嗣、山川 邦夫、 佐賀 千恵美、渡辺 正一、佐々木 純
社会福祉法人積慶園 (議第 161 号)	理事長 古村 正哉 理 事 小石 敦子、天方 浩之、石黒 善治、古村 絢子、 藪下 聡美 監 事 西村 勲、中村 英司 評議員 上仲 敦子、棚橋 和代、林 俊光、曾谷 栄一、 松原 祐紀、高森 静子
社会福祉法人宏量福祉会 (議第 162 号)	理事長 芹澤 出 理 事 矢野 武也、谷 章子、横内 美佐子、芹澤 千恵美、 清水 教恵、伊藤 正博、野崎 智子 監 事 西村 彰、長谷川 佐喜男 評議員 藤野 節子、佐々木 ちづ子、中川 みどり、辻 貞和、 佐野 夏代、坂田 克江、古屋 明美、神保 忠俊、 鶴谷 祥太、塩尻 貴代美

団 体 名	役 員
公益社団法人京都市 児童館学童連盟 (議第 163 号)	会 長 稲川 昌実 副会長 森口 源造、三浦 正人 常務理事 國重 晴彦 理 事 前川 修、中川 一良、野崎 智子、辻 敏夫、 高尾 順子、吉川 彰、山根 邦夫、乾 雅晴、 木戸 玲子、吉川 佳寿美、木下 貴美代、 山本 陽子、平井 麻由美、野田 雅子、畑山 博、 上田 廣久、湊 二郎、南部 和久 監 事 矢島 里美、駒田 昌子、壁 純一郎
一般社団法人京都市 ひとり親家庭福祉連 合会 (議第 166 号)	会 長 横内 美佐子 副会長 渡邊 洋子、草野 政子、関口 彰子 理 事 山本 八十子、西 眞弓、山本 和子、田中 美佐子、 安保 千秋、國重 晴彦、青山 敏夫、古田 敏恵、 仲井 賢一 監 事 中川 敏子、後藤 法子
社会福祉法人向島保 育園 (議第 167 号)	理事長 福田 砂弓 理 事 中西 国彦、原田 勲、山内 五百子、望月 絹枝、 比賀江 良介 監 事 雪山 教子、土井 三郎 評議員 山本 半次郎、鎌田 真行、太田 美佐和、橋村 芳和、 小林 明、西田 淑美、鈴木 真知、田中 一郎

2 京都市児童発達支援センターこぐま園

団 体 名	役 員
社会福祉法人京都基 督教福祉会 (議第 170 号)	理事長 中江 潤 理 事 矢野 隆弘、尾堂 隆哉、村上 幸子、真下 謙、 大橋 良輝 監 事 藤木 正人、前川 修、堀井 忠 評議員 木原 活信、平田 義、木村 良己、石若 義雄、 山下 茂雄、入 治彦、木村 耕